

知る人ぞ知る魅力を紹介 にしのみやを 深掘り

西宮には、あまり知られていなくても、実は歴史や物語を持った「場所」や「もの」がたくさんあります。今回は、そんな「知る人ぞ知る」場所やもの魅力について、詳しい人に教えてもらいました。コロナ禍で、近くで過ごすことが増えている今こそ、身近な魅力に目を向けてみませんか。

3 「涼宮ハルヒの憂鬱」に登場 西宮北高前の急坂

この坂は「涼宮ハルヒ」の作中に登場し、私たちファンは「ハルヒ坂」と呼んでいます。登るのはしんどいですが、劇中の世界そのままの姿を求め、全国からファンが訪れます。夜景もきれいですよ



兵田印刷工業株式会社
一昨年、西宮で作品の関連イベントを実施
西中辰也さん

西宮を舞台とした谷川流さんの小説「涼宮ハルヒの憂鬱」シリーズに登場。作品には、他に西宮北口駅前の「時計塔」なども登場。昨年11月に最新刊が発売された

2 登り始めて20分で山頂に! 大展望を満喫 観音山

山頂からは甲山と北山野水池がきれいに見え、大阪湾や神戸市街まで広がる大パノラマが満喫できます。私が登山にハマるきっかけとなった山で、年に2、3回は登ります



西宮市スポーツ推進委員
中川勇夫さん



登山道入口は鷲林寺本堂に向かって右側。急な「パノラマコース」等ルートは数種。鷲林寺へは阪急・阪神バスが便利

5 西宮神社境内にあるアレの秘密は? 知る人ぞ知る「えべっさん」

ほんの一部ですが、境内で見られる歴史や物語のある「もの」を紹介します



神馬像
拝殿両脇で見られます。作者の後藤貞行は、上野の西郷隆盛像の犬や、皇居外苑の楠木正成像の馬を作った、動物彫刻の大家です



BABY PHOENIX
現代美術家の元永定正さんの「あめかざてんき」など多数の6列植栽の桜並木もみどころ

西宮神社 禰宜
吉井良迪さん

昭和36年(1961年)、本殿の竣工時に、阪神電鉄から奉納いただきました。普段は拝殿に飾られていますが、十日えびすでは本殿に置いてあります

6 潮風に吹かれながらアート散歩 西宮浜のアートストリート

面白いオブジェや迫力ある造形物は見るだけで楽しくなります。私のおすすめは、BABY PHOENIX(ベビーフェニックス)です。西宮の魅力とともに、阪神・淡路大震災の被災者を励まそうとする思いが込められた、素晴らしい作品です



西宮市教育委員会
足立年樹さん

高校球児や野球ファンが必勝祈願などに訪れる。正面にはベース型の数石も設置。阪神タイガース元監督で故・星野仙一氏揮毫の「夢」の字が入った、ボール型モニュメントなども見られる



毎年、甲子園の大会期間中は、球児や関係者でにぎわい、絵馬もあふれるほどになります。昨年は寂しい1年でしたが、今年はたくさんの元気な顔を見たいですね。ボール型やベース型のお守り、絵馬もあるので、参拝の際はぜひご覧ください



素盞鳴神社 宮司
畑中秀敏さん

募集 \知っている場所・ものを教えてね!

皆さんの知っている、西宮の「知る人ぞ知る」場所やものを募集します。応募は、1月27日までに市のホームページ(ページ番号: 26081849)内の申込フォームから、場所等の情報などの入力。抽選で6人から、賞品をプレゼントします。右コードから応募ください

※重複申込不可。プレゼントの当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

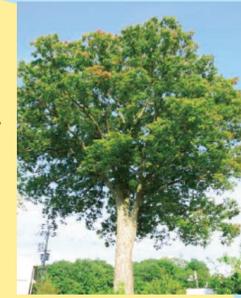


1 樹齢約300年の巨大樹木 山口の大ケヤキ

周りに生育を遮るものがなかったので、長い年月をかけて、のびのびと大きく育ちました。一番の魅力は、美しい樹形です。これからも、しっかりと守り継いでいきたいと思います



谷口良子さんと正夫さん



国道176号沿いの山口郵便局横に立つ。市指定天然記念物

16 緒方洪庵を支え、名塩蘭学塾にも関わった 名塩の緒方八重像

緒方八重は、蘭学塾・適塾を開いた夫の緒方洪庵を、大坂(現在の大阪)で支えました。面倒見が良く、福沢諭吉など多くの塾生に慕われたそうです。名塩蘭学塾を開いた伊藤慎蔵の名塩への移住も、八重の計らいで実現しました



像があるのは、かつて名塩蘭学塾のあったJA兵庫六甲名塩支店前
名塩地区コミュニティ協議会会長
北野昭さん



像があるのは、かつて名塩蘭学塾のあったJA兵庫六甲名塩支店前

13 甲山森林公園に大坂城ゆかりの巨石 大坂城石垣石丁場跡 東六甲石丁場跡

貴重な国指定史跡ですが、見学でき、巨大な石がたくさん見られます。当時の痕跡が残る石も見られ、展望のいい場所もありますので、写真を撮りついでに撮ってください。甲山森林公園ではみくるま池の紅葉もおすすめです



矢を打ち込んだ跡が残る矢穴石

ノルディックウォーキング講師
藤川真司さん



平成30年(2018年)に国史跡に指定。約400年前、大坂城の石垣に使われた石の採石場だった場所で、巨石の一部には、石材を採るために矢を打ち込んだ「矢穴石」や、作業を行った肥前鍋島藩の刻印などが残る

11 「天守があった?」との説もある 越水城跡

越水城は、堀や矢倉を備えた本格的な城郭建築で、今や住宅地に変貌し想像もできませんが、この辺りにあったようです。大河ドラマ「麒麟がくる」にも登場した三好長慶が一時期、居城にしたことでも知られています



西宮歴史調査団
高谷康彦さん

越水城は約500年前、瓦林正頼が築城。織田信長により廃城とされ、現在は名残として、城のあった辺り(大社小学校の南東)に石碑が残る



トンネルに入出入りする新幹線を真上から見られる、鉄道好きにおすすめの場所

12 山陽新幹線記念公園



トンネルに入出入りする新幹線を真上から見られる、鉄道好きにおすすめの場所

10 新堀川沿いトンネル

JR甲子園駅東側。戦時下で物資を運ぶため、突貫工事で延線された阪神武庫川線の名残であり、本来はきれいなアーチを描くはずが、急を要したため、南側の拡幅された部分は四角に



浴場で使用されたと思われるライオン像

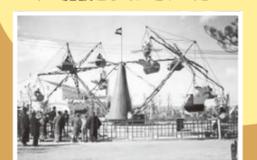
8 干潮時の甲子園浜に出現 初代阪神パーク跡

阪神パークと言うと、今のららぽーと甲子園の場所を連想する方が多いですが、実は、初代阪神パークは浜甲子園にありました。電気仕掛けの乗り物を多数設置し、動物は檻(おり)ではなく、当時では珍しい放し飼いに、水族館では、日本で初めてクジラを飼育するなど、時代の最先端を行く遊園地でした。時折、海から現れる遺構が、繁栄の歴史を語ってくれます



図の外壁と思われる遺構

初代阪神パークは、戦時中の昭和18年(1943年)、飛行場建設のため取り壊されるまで、一大レジャー施設としてにぎわった



浜甲子園阪神パーク(阪神電鉄提供)



武庫川女子大学教授
丸山健夫さん



タイガース号

9 「タイガース号」など4編成が運行中 阪神武庫川線新デザイン車両

阪神タイガースカラーの黄色と黒を使った「タイガース号」、車内に阪神甲子園球場のグラウンドを再現した「甲子園号」など4つのデザインがあります。見ても乗っても楽しめる、阪神電車ならではの車両です。他の2編成、「TORACO号」、「トラッキー号」の車内にも楽しい仕掛けがあります!

阪神電車の武庫川線では、昨年6月から、新たに「野球」をテーマにした4編成が運行中



甲子園号の車内



阪神電気鉄道株式会社
清水美帆さん